

季刊

唯物論研究協会編集

# 思想と現代

1987

12号

特集 ● アジアのなかの日本

〈鼎談〉

アジアのなかの日本を考える

遠いアジア 小谷汪之 / 吉田傑俊 / 石井伸男

今、日本が真に

目を開くべき相手は 小菅奎申

「脱亜論」と「南海先生」

日中十五年戦争と戦争責任 小川晴久

解放の神学の視点から見た 土方和雄

「国際化」時代の外国人労働者 君島和彦

アジアの中 山田経三

前田博厚

発売元

白石書店

●実践的真理観の探求——20年ぶりの復刊

# ヘーゲルにおける 現実性と概念的把握 の論理

許 萬元著

(増補版)

ヘーゲル哲学の批判的検討を通じて、「実践的真理観」をうちたてようと試みた著者の理論的骨格をなす力作。論文「弁証法」を加えて増補として復刊。 A 5判・3500円

井尻正二著 ドイツ語版『ヘーゲル「大論理学」に学ぶ』

Aus der »Wissenschaft der Logik«  
von Hegel lernen Kritik der Hegelschen Dialektik

著者の積年の活動の理論的結晶である労作に、その後の諸論文をまとめて、ドイツ語に翻訳。創造的な研究成果を国際的に提起。 A 5判・7500円

東京都文京区本郷2-11-9 大月書店  
電話 03 (813)4651(代表)

白石書店 東京都千代田区神田神保町1-28  
☎03(291)7601 振替東京2-16824

# 戦後思想の再検討

東京唯物論研究会編

民衆の側からの戦後思想を総括、再検討し、歴史的歧路に立つ現代日本の指針を探る。

## 人間と文化篇

定価二五〇〇円 千250

思想の戦後史をどうとらえるか——高田求／論理学論争について——仲本章夫／戦後思想の人間論——吉田正岳／文化運動と高度経済成長——佐藤和夫／戦後思想の方法と文学——山根猷

## 政治と社会篇

定価二四〇〇円 千240

戦後四〇年の思想——芝田進午／大衆社会論争——後藤道夫／戦後民主主義の現在——吉崎祥司／「脱産業化社会」の夢と現実——石井伸男／批判的視角からみた技術の論理——鳥居廣

## 目次

### 特集 アジアのなかの日本

〈鼎談〉

- アジアのなかの日本を考える……………小谷汪之／吉田傑俊／石井伸男 3
- 遠いアジア——内的検証の試み——……………小菅 奎申 25
- 今、日本が真に目を開くべき相手は……………小川 晴久 45
- 自立のための新国際主義宣言——
- 「脱亜論」と「南海先生」……………土方 和雄 60
- 『三酔人経綸問答』刊行100年に寄せて——
- 日中十五年戦争と戦争責任……………君島 和彦 73
- 解放の神学の視点から見たアジアの中の日本……………山田 経三 92
- 「国際化」時代の外国人労働者……………前田 博厚 107
- エッセー わたしとアジア
- 香港で落ちた「ウロコ」……………有田 芳生 125
- 日本の勤労者はどんな顔をしてアジアの人々と  
付合うことになるのか……………荒又 重雄 128
- 南インドで感じたこと——アジアにおける文化の問題——……………田中 収 131
- 過去を変えることはできない……………向江 強 134

### 文化時評

- 霧が晴れる日——恐慌論ブームを読む——……………志田 昇 137

### 海外論文翻訳

- ヘーゲルへのマルクスの負債……………ジャック・ドント／石川光一訳 145

### もう一つの思想家像

- 和辻哲郎研究の回顧——自己反省をこめて……………小牧 治 168

### 書評

- 清 真人著『言葉さえ見つけることができれば』……………赤井 正二 181
- 芝田進午著『核時代Ⅰ』『核時代Ⅱ』……………秋間 実 182

### 前号批評

- 特集「〈公〉と〈私〉の変容」を評す……………市川 達人 185